

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報（定期赤潮調査結果）**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成30年7月12日

八代海赤潮情報No.4

[1] 7月11日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

全調査点において、有害種による着色は確認されませんでした。

シャットネラ属が通常検鏡により1ヶ所で1細胞/mL、濃縮検鏡で2ヶ所で確認されました。

コクロディニウム ポリクリコイデスが通常検鏡により1ヶ所で8細胞/mL、濃縮検鏡により4ヶ所で確認されました。

セラチウム属が全域で確認され、最高76細胞/mLでした。

珪藻類については、南部でやや少なく、他は多い状況でした。

(2) 海況

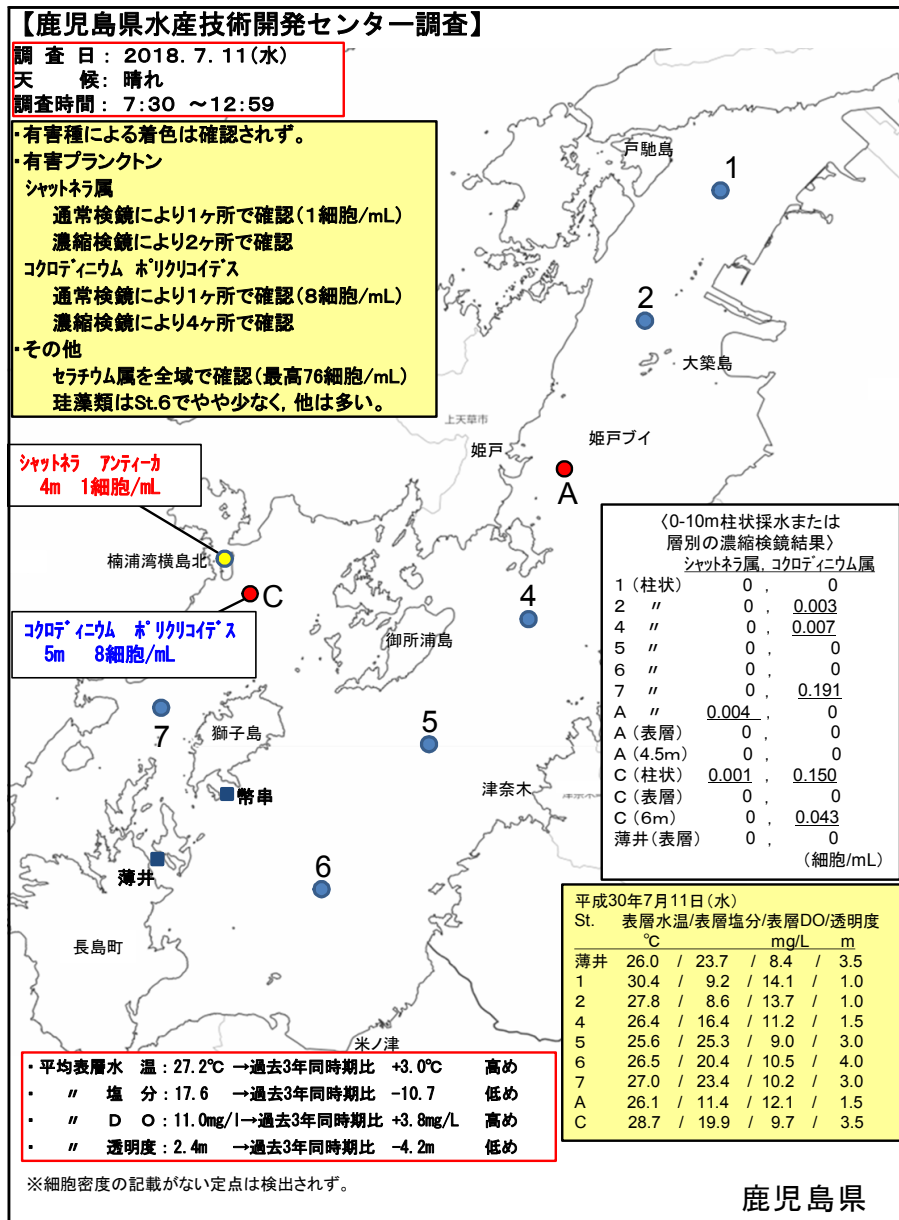
表層水温は八代海全域で25.6~30.4℃で過去3年同時期より+3.0℃で高め、塩分は8.6~25.3で低め、透明度は1.0~4.0mで低めとなっています。

表層水温：平均 27.2℃ (24.2℃)

表層塩分：平均 17.6 (28.3)

透明度：平均 2.4m (6.6m)

※( )は過去3年同時期調査における平均値



[2] 今後の赤潮発生の予想  
 有害種であるシャットネラ アンティーカー及びコクロディニウム ポリクリコイデスが確認されました。

現在、競合種である珪藻類は南部でやや少なく、他は多い状況となっていますが、今後の状況によっては有害種が増殖する可能性がありますので注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的な検鏡等を継続し、十分な監視をお願いします。

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



